

# 平成22年度 学校自己評価システムシート ( 県立上尾橋高等学校 )

目指す学校像 **地域に根ざし、生徒一人ひとりを伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する。**

- 重点目標
- 1 基本的生活習慣を確立し、規律意識を高める。
  - 2 基礎学力の向上を図り、生徒の資質・能力を高める。
  - 3 進路指導の充実により、生徒の自己実現を図る。
  - 4 地域に根ざし、信頼される開かれた学校づくりを進める。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	2名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	9名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 目 標					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 3 月 1 8 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣について迅速な生徒把握を行い指導に結びつけるため、遅刻カードの活用、出席簿記載の徹底を進め、教員間で連携した指導体制をとっている。</li> <li>身だしなみ等指導時には直す、その後再び乱れてしまう生徒も一部おり、習慣化が課題である。</li> <li>家庭・地域との連携を強化し、本人の自覚をさらに促していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○規律意識の向上</li> <li>○基本的生活習慣の確立。遅刻欠席等の防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>服装頭髪、登下校、遅刻防止指導等の徹底。家庭、PTA、地域との連携。</li> <li>社会人基準の規律意識の啓発、定着。</li> <li>学校行事等を通して、集団行動のあり方を理解させる。</li> <li>生徒会活動や環境整備委員会の校外巡回等の活性化。</li> <li>声かけ指導の拡充。</li> <li>遅刻防止のため、家庭との連絡を密に取り、早期指導に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTAと連携した安全指導等実施。</li> <li>服装規定とともに、服装頭髪指導の方法等の検討。</li> <li>生徒指導案件の減少。</li> <li>学校行事等の改善。</li> <li>遅刻、欠席、早退の減少。</li> <li>生徒会や委員会活動の活性化。</li> <li>保護者への連絡が徹底されたかその確認方法を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻指導・遅刻カードの改善。家庭との連携強化、指導のスムーズステップ化、日常化を進めた。</li> <li>遅刻指導対象者が10.2%減(昨年比)</li> <li>生徒会を中心とした服装規定の見直しの検討を進め、社会規範意識の啓発を進めた。指導基準の明確化により、生徒自ら改善を行う傾向も見られる。</li> <li>完全下校時刻を明確化し、学校生活のけじめを意識させ、学校事故防止に効果を上げた。</li> <li>日常的にきめ細やかに巡回指導等を継続し、生徒指導案件40%減、指導対象者18.3%減少(昨年比)。</li> <li>体育祭・文化祭・強歩大会など生徒の取組む姿勢に積極性が見られ、活気ある行事を公開できた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度の達成度は「ほぼ達成」領域にあるが、生徒の現状は未熟な部分もあり、さらなる指導の必要性を感じる。現指導の継続と共に、特に服装に関する指導や自発的に改善できる指導に力を入れていく必要がある。</li> <li>教員による指導だけではなく、生徒会役員や委員会での活動を活かし、自主性・自律性を同時に育てながら基本的な生活習慣の改善を図る。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業規律の確立が、学力向上・生活習慣改善・安全な環境作り等にもつながるとの共通認識がある。</li> <li>授業規律の意識啓発のために、家庭との連携をさらに深める必要がある。</li> <li>学習指導のスムーズステップ化をすすめる、生徒に達成感を与えられるようさらに工夫していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業規律の確立</li> <li>○学力向上・個性伸張のための授業改善、および多様な教育活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャイム着席等の指導の日常化。</li> <li>保護者への具体的な情報発信。</li> <li>家庭と連携した指導体制の確立。</li> <li>授業公開の拡充。</li> <li>授業アンケートの結果と検証。</li> <li>学び直しの機会拡充、方法の検討。</li> <li>基礎基本の定着の確認。</li> <li>ICT教材の活用。</li> <li>資格取得指導の充実、機会の拡大。</li> <li>教育課程の見直し。先進校研究。</li> <li>地域と連携した教育活動の推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャイム着席は定着したか。</li> <li>保護者宛通知等の改善。</li> <li>保護者・地域の来校機会の拡充。</li> <li>授業公開日を年間20日以上設定し、参加者を拡充できたか。</li> <li>授業公開の趣旨を生徒に周知し、授業規律向上意識を啓発したか。</li> <li>「学び直し」の機会方法等の検討。</li> <li>授業アンケートの結果と検証。</li> <li>資格取得の補習体制の確立。合格率の向上。参加者の拡充。</li> <li>成績不振者・中途退学者の減少。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャイム着席は、生徒自身の達成度86.8%、指導体制満足度87.6%(生徒アンケート)定着した。</li> <li>[計画準備された授業]90.2%、[先生の熱意を感じる]91.5%、[総合満足度]87.4%(同アンケート)。</li> <li>授業公開日は20日。研究授業を複数実施し、教科を超えた研修ができた。授業アンケートを改善。</li> <li>長期休業を弾力化し、補習日程を確保。進学補習(数学)を実施。進学への高い意識を継続させる。</li> <li>「学び直し」の検討を推進。全体での試行開始。</li> <li>資格取得は、昨年を大幅に上回る見込み。</li> <li>埼玉県英語スピーチコンテスト第3位</li> <li>21年度46.1%減に続き、中退者数42.9%減(2月末比)</li> <li>成績不振者5.9%増(昨年比)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の可能性を拡大するために身につけさせたい学力と個々の進路実現との関連を明確に示し、自主的に学習に取り組める環境づくりを推進したい。</li> <li>個々の能力の伸長のためには、生徒全体の授業の雰囲気作りも欠かせない要素である。様々な学習活動を通して、「学びあい、教え合う」環境づくりを推進したい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導部と学年が連携し、生徒に積極的に働きかけ、厳しい状況の中でも就職率100%を維持した。</li> <li>生徒の進路意識向上や組織的取組により、きめ細やかな指導体制が確立されている。</li> <li>明確な進路意識を育てるために、各段階の教育内容の工夫が必要である。</li> <li>保護者とも情報を共有し、連携を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夢を実現させる進路指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識と体験の両面から職業意識、目的意識の明確化を進める。</li> <li>ガイダンス機能の充実。</li> <li>個別進路相談の充実。</li> <li>生徒の自己理解と進路研究の促進。</li> <li>保護者にも進路意識の啓発する活動に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職率100%の維持。</li> <li>ガイダンス等の保護者参加機会の拡充と工夫。</li> <li>進路情報の積極的な発信。</li> <li>職員間の情報共有の工夫改善。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職内定率は100%を達成。</li> <li>県の労働局主催の就職ガイダンスを校内実施。面接のマナーや進路意識が向上した。</li> <li>仕事理解、職業理解、分野理解、進路探求等、学年毎に計画的、段階的にガイダンスを実施した。</li> <li>ガイダンス保護者参加を通知。情報提供に努め、家庭との連携を強化した。</li> <li>フレッシュ社会体験、生徒の充実度80.7%、再体験希望の保護者92%、生徒取組を評価する企業80.7%</li> <li>東京工業大学と連携。体験実習・講義の実施。</li> <li>ハワイ・プナホウ高校とチャット交流。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>厳しい経済状況であるが、今後も最後の一人まで粘り強く指導し、正社員としての就職内定率100%を堅持していく。</li> <li>ガイダンスや面接練習についても、厳しい状況を鑑み各学年で回数を増やし、きめ細やかに対応していく。</li> <li>ハローワークのみでなく、近隣の商工会議所、工業会組合と連携を取り、企業開拓に努める。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域、保護者に向け、具体的な情報発信を行っている。</li> <li>保護者来校の機会を拡充するとともに、アンケートなど地域保護者の声を集約する機会を増やす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機会を捉えたきめ細かい情報発信</li> <li>○生徒・保護者・地域の要望・考えを把握し、共有できる組織づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動の趣旨等の情報発信の拡充。</li> <li>生徒の活動が見える発信方法の研究。</li> <li>教職員間の情報共有の促進。</li> <li>学校説明会・中学校訪問時のPR内容方法の再検討。</li> <li>保護者アンケートの実施と検証。</li> <li>保護者の来校機会の拡充。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分掌、学年、学級等の機を捉えた情報発信の実施。</li> <li>保護者等への情報提供の方法・内容等の拡充。</li> <li>学校説明会参加者の増加。</li> <li>入試倍率の維持。</li> <li>行事等の保護者来校者数の増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPの改善。トップの見やすさ、更新頻度等改善し、保護者・受検生の利用度を高めた。</li> <li>学級通信の活性化。教育活動や実績の発信を行う。</li> <li>学校説明会資料等を改善し、参加者は21.2%増加。</li> <li>生徒アンケートを改善。自己改革の意識啓発</li> <li>生徒全員による校外美化活動と正門・バス停付近の緑化活動の継続し、地域との交流を深めた。</li> <li>部活動地域交流。サッカー(地域社会人チーム交流)アーチェリー(パラリンピック補助)吹奏楽(上尾/桶川駅前コンサート)演劇(地域の幼稚園と交流)</li> <li>中清掃設定(5回)。校内美化と学びの場づくりの意識啓発。部活動による美化活動実施。</li> <li>行事等の際、職員名札の着用推進。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校説明会の改善により、本校の取組を具体的に示すことができ、学校理解が進んだ。さらに具体的な発信に努めたい。</li> <li>個々の活動について、発信の方法については改善が進んだ一方で、生徒全体に成果等を伝え切れていない部分もある。仲間の活動を知り、切磋琢磨することで、さらに活気ある学校づくりを進めたい。</li> </ul>

学校関係者からの意見・要望・評価等

- ・神社や通学路などを掃除していただき、地域としても感謝している。
- ・今までに比べて、通学路・神社や集落センター付近などにゴミの散乱がなくなった。
- ・地域の区長会で地域の学校(幼・小・中・高校)の話題になることがよくある。その中で、橘高校は良くなってきていると話題になる。
- ・10月の環境センターでの催しに橘高校も是非参加していただきたい。吹奏楽部などの参加を検討してみてください。
- ・第1回懇話会で、「夜の通学路が暗く危険である」という話があった。5月に市との話し合いがあるので、その他の要望も含めて是非出してください。
- ・自転車の事故が多い。交通マナー・ルールを守って欲しい。無灯火、ながら運転、二人乗り、スピードの出し過ぎ等は、周囲の人にも自分にも危険です。
- ・区長会を活用してもらいたい。学校通信などは区長会に配ってもらえれば、町内回覧します。学校をもっとPRして欲しい。
- ・全体として、すごく良くなっているという印象である。是非、続けてもらいたい。